

令和3年度岩手県政策評価委員会

(開催日時) 令和4年2月9日(水) 10:00～11:00

(開催場所) 岩手県水産会館 5階大会議室

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
 - (1) 委員長及び副委員長の選任について
 - (2) 各専門委員会委員の指名について
 - (3) 令和3年度政策評価等の実施状況及び各専門委員会の開催状況について(報告)
 - (4) 令和3年度政策評価結果等の政策等への反映状況について(報告)
 - (5) いわて県民計画(2019～2028)第1期アクションプラン(2019年度～2022年度)における具体的推進方策指標の変更について(報告)
 - (6) その他
- 4 閉 会

出席委員

加藤徹委員長、吉野英岐副委員長、石川奈緒委員、市島宗典委員、伊藤幸男委員、小笠原敏記委員、狩野徹委員、工藤昌代委員、小井田伸雄委員、清水真弘委員、谷本真佑委員、西田奈保子委員、松木佐和子委員、武藤由子委員、森直子委員、八重樫健太郎委員、山本英和委員

欠席委員

竹内貴弘委員、竹村祥子委員、松山梨香子委員

1 開 会

<事務局から開会宣告>

2 挨拶

○照井政策企画課総括課長 それでは、開会に当たりまして政策企画部、坊良副部長から挨拶を申し上げます。

○坊良政策企画部副部長兼首席調査監 皆様、おはようございます。ただいま紹介いただきました副部長の坊良と申します。このたびは、政策評価委員会の委員をお引き受けの上、本日の委員会の開催に当たり、御出席いただきまして厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大、第6波ということで非常に拡大しております。本県におきましても拡大が継続し、現在岩手緊急事態宣言を発し、対応を講じているところでございます。このような中、本委員会においても感染症対策といたしまして、リモート会議により開催をさせていただいたところでございます。

令和元年度からスタートいたしました新しい総合計画、いわて県民計画(2019～2028)は、幸福をキーワードとし、お互いに幸福を守り育てることを目指しており、健康・余暇

や家族・子育てなど県民の幸福に関する政策分野を設定しております。この政策分野には、幸福に関する客観的指標として、いわて幸福関連指標を定め、評価に当たっては県民の幸福に係る分野別実感を反映させて実施したところでございます。

今年度、令和3年度におきましては新型コロナウイルス感染症により県の取組も大きく影響を受けたところであり、このような新たな課題への対応を含め県の取組状況を確認し、必要な見直しを行うことで計画を推進し、「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」を前進させていくことが重要と考えております。今後も政策評価委員会の意見を伺いながら県民や県に関わる人々の幸福度を高めるための施策を展開してまいりたいと考えております。

本日は、正副委員長を選任、各専門委員会委員の指名の後、今年度の各専門委員会の開催状況、政策評価結果の政策等への反映状況について御報告をすることとしております。また、今年度、新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえた政策推進プランにおける具体的推進方策指標を見直してございまして、その結果についても御報告することとしております。どうぞ本日はよろしくお願ひいたします。

○照井政策企画課総括課長 以降の進行は、着座にてやらさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

それでは、本日の委員会の議事に入ります前に、本日は改選後初めての委員会でございますので、委員の紹介等をさせていただきたいと存じております。委員の皆様には、あらかじめ辞令書をお届けしておりますが、お届けでしょうか。本委員会は知事の諮問機関でありますので、本来であれば知事からお一人お一人に辞令書を交付すべきものでございますが、今回は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、リモートでの開催となりましたので、あらかじめ郵送にて送付させていただきましたことを御了承いただきたいと思います。

委員の任期は、政策等の評価に関する条例の規定によりまして、令和4年2月1日から令和6年1月31日までの2年間となりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

それでは、委員の紹介を五十音順にて紹介させていただきます。

石川奈緒委員でございまして。よろしくお願ひいたします。

続きまして、市島宗典委員でございまして。

伊藤幸男委員でございまして。

○伊藤幸男委員 よろしくお願ひいたします。

○照井政策企画課総括課長 小笠原敏記委員でございまして。

○小笠原敏記委員 よろしくお願ひいたします。

○照井政策企画課総括課長 加藤徹委員でございまして。

○加藤徹委員 よろしくお願ひいたします。

○**照井政策企画課総括課長** 狩野徹委員でございます。

○**狩野徹委員** よろしく願いいたします。

○**照井政策企画課総括課長** 工藤昌代委員でございます。

○**工藤昌代委員** よろしく願いします。

○**照井政策企画課総括課長** 小井田伸雄委員でございます。

○**小井田伸雄委員** よろしく願いいたします。

○**照井政策企画課総括課長** 清水真弘委員でございます。

○**清水真弘委員** よろしく願いします。

○**照井政策企画課総括課長** 竹内貴弘委員におきましては、本日都合により欠席となっております。

また、竹村祥子委員につきましても本日都合により欠席となっております。

谷本真佑委員でございます。

○**谷本真佑委員** おはようございます。よろしく願いします。

○**照井政策企画課総括課長** 西田奈保子委員でございます。

○**西田奈保子委員** よろしく願いします。

○**照井政策企画課総括課長** 松木佐和子委員でございます。

○**松木佐和子委員** よろしく願いいたします。

○**照井政策企画課総括課長** 松山梨香子委員につきましては、本日都合により欠席となっております。

武藤由子委員でございます。

○**武藤由子委員** よろしく願いします。

○**照井政策企画課総括課長** 森直子委員でございます。

○**森直子委員** よろしく願いいたします。

○**照井政策企画課総括課長** 八重樫健太郎委員でございます。

○**八重樫健太郎委員** よろしくお願ひいたします。

○**照井政策企画課総括課長** 山本英和委員でございます。

○**山本英和委員** よろしくお願ひします。

○**照井政策企画課総括課長** 吉野英岐委員でございます。

○**吉野英岐委員** よろしくお願ひします。

○**照井政策企画課総括課長** 以上、20名の委員様でございます。よろしくお願ひ申し上げます。

〔事務局から委員20名中17名の出席により会議が成立する旨の報告〕

3 議 事

(1) 委員長、副委員長の選任について

○**照井政策企画課総括課長** それでは次に、議事に入ります。

政策等の評価に関する条例の規定により、会議の議長は委員長が務めることとされておりますが、本日が委員改選後最初の委員会でございますので、委員長が決まりますまでの間、暫時政策企画部副部長の坊良が議長役を務めさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

○**坊良政策企画部副部長兼首席調査監** それでは、大変僭越ではございますが、委員長が決まりますまでの間、暫時議事を進めさせていただきます。

議事の(1)、委員長及び副委員長の選任についてに入らせていただきます。条例の規定によりまして、委員長及び副委員長の選任は委員の互選によることとされております。

互選の方法であります。いかなる方法で互選するかお諮りいたします。いかがでしょうか。

特に意見がなければ、事務局から指名推選の方法によりまして進めてまいりたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

「異議なし」の声

○**坊良政策企画部副部長兼首席調査監** それでは、事務局から推薦をお願いいたします。

○**高橋政策企画課評価課長** 事務局といたしましては、前委員長の加藤徹委員が委員長に適任と思われまますので、推薦いたします。

また、副委員長は、同じく前副委員長の吉野英岐委員を推薦いたします。

○坊良政策企画部副部長兼首席調査監 ただいま事務局の方から、委員長には加藤徹委員、副委員長には吉野英岐委員の推薦がありました。御異議ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

「はい」の声

○坊良政策企画部副部長兼首席調査監 それでは、委員長に加藤徹委員、副委員長には吉野英岐委員がそれぞれ選任されました。委員長、副委員長には、よろしく願いをいたします。

それでは、加藤委員長にはこれからの議事の進行をお願いいたします。お願いいたします。

○加藤徹委員長 加藤でございます。再度委員長を仰せつかりましたので、一言簡単に御挨拶を申し上げまして、その後の議事進行を務めさせていただきたいと思っております。

一昨年当初から新型コロナウイルス感染症に悩まされておりました、昨年の政策評価委員会では、一部の委員につきましてはウェブでの参加ということでやらせていただきましたが、今回は政策評価委員会としては、初めて全員ウェブでの参加という形になりました。このために委員の皆様には何かと御不便をおかけすることもあるかと思っておりますが、このような事情を御賢察の上、御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

ところで、令和4年度は先ほど御紹介していただきましたように、一部の委員の交代がありまして、新しく3名の委員にお入りいただきました。この3名の委員を含めまして、各専門委員会に属すべき委員の指名につきましては、この後の議事の2のところでは指名させていただきますが、何とぞ御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

本日の議題としましては、この各専門委員会の委員の指名のほか、令和3年度政策実施状況及び各専門委員会の開催状況について、さらに令和3年度政策評価結果の政策等への反映状況について、そして本年度は、いわて県民計画第1期アクションプランにおける具体的推進方策指標の変更についてという議題が追加されておりますが、委員の皆様には何とぞ忌憚のない御意見をいただきますようお願いを申し上げまして、簡単ですが、挨拶に代えさせていただきます。何とぞよろしくお願い申し上げます。

(2) 各専門委員会委員の指名について

○加藤徹委員長 それでは、お手元の次第によりまして議事を進めてまいりたいと思っております。

議事の(2)、先ほど申し上げましたように各専門委員会委員の指名についてであります。条例の規定により、当委員会には政策評価専門委員会、公共事業評価専門委員会及び大規模事業評価専門委員会の3つの専門委員会が設置されております。

各専門委員会に属すべき委員の指名につきましては、条例の規定により、委員長が指名することとされておりますので、私の方から指名させていただきたいと思っております。

具体的な指名内容につきましては、事務局に資料をお渡ししてありますので、事務局の方から説明をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

○高橋政策企画課評価課長 委員長が指名する具体的な内容でございますが、政策評価専門委員会委員には市島委員、工藤委員、竹村委員、西田委員、森委員及び吉野委員を、公共事業評価専門委員会委員には石川委員、伊藤委員、小笠原委員、清水委員、谷本委員及び武藤委員を、大規模事業評価専門委員会委員には加藤委員、狩野委員、小井田委員、竹内委員、松木委員、松山委員、八重樫委員及び山本委員をそれぞれ充てるものとされております。

以上でございます。

○加藤徹委員長 ただいまの説明のとおり指名させていただきたいと存じますが、各委員の皆様御異議ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

「異議なし」の声

○加藤徹委員長 それでは、委員の皆様、こういう形で御協力いただければと思います。よろしくお願いいたします。

(3) 令和3年度政策評価等の実施状況及び各専門委員会の開催状況について（報告）

○加藤徹委員長 次に、議事の(3)、令和3年度政策評価等の実施状況及び各専門委員会の開催状況について、これにつきまして事務局の方から御説明をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

〔資料1に基づき説明〕

○加藤徹委員長 ありがとうございます。ただいま令和3年度の各専門委員会の開催状況等について御説明いただきましたけれども、この内容につきまして委員の皆様何か御質問等ございませんでしょうか。

「なし」の声

○加藤徹委員長 よろしいでしょうか。

「異議なし」の声

○加藤徹委員長 それでは、この案件は終わりにさせていただきます、次に移らせていただきたいと思います。

(4) 令和3年度政策評価結果等の政策等への反映状況について（報告）

○加藤徹委員長 次に議事(4)の令和3年度政策評価結果等の政策等への反映状況につ

いて、これにつきましてもまず事務局の方から御説明をお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

【資料2に基づき説明】

○加藤徹委員長 ありがとうございます。それでは、ただいまの御説明につきまして何か御意見ございませんでしょうか。資料が盛りだくさんで、なかなか詳細まで目を通されるのは大変かと思いますが、ただいま御説明いただきました内容につきまして、どんな点でも結構ですので、御意見いただければと思います。

小井田先生よろしくをお願いいたします。

○小井田伸雄委員 非常に細かいことで、先ほど私のほうでも手元で確認して、恐らくこういうことだろうということなのですが、23 ページの歴史・文化のところの先ほど御説明いただきました既存事業の拡充というところの2番目のところなのですが、世界遺産を活用した観光地域づくりを進めるためと書いてございまして、北いわての地域資源を活用した魅力発信事業費となっておりますが、こちらのほうが世界遺産を活用したと書いているのですが、3つ世界遺産があるかと思えますけれども、そのうちの特定のものを活用するという意味なのか、それとも3か所の世界遺産の間を周遊できるような事業を考えているのかということをお聞きしたいのですけれども、北いわての地域資源という書き方をしているので、御所野遺跡でしょうか、北の世界遺産のみとも読めるのですが、もし御存じでしたらちょっと教えていただきたいのですけれども。

○加藤徹委員長 事務局の方よろしいでしょうか、お願いしても。

○高橋政策企画課評価課長 この北いわての地域資源を活用した魅力発信事業につきましては、県北広域振興局で取り組もうとしている事業でございまして、小井田先生がおっしゃるとおり昨年世界遺産登録されました一戸町の御所野遺跡の世界遺産を活用しまして、様々な取組を進めるというようなことを考えております。隣接圏域、八戸だったり鹿角と連携した周遊観光、周遊キャンペーンなどをやることとしておりますし、それから I G R いわて銀河鉄道と連携したイベント、教育旅行プログラム創出など、そういった形で御所野遺跡を活用した観光地域づくりを県北地域で進めようという取組となっております。

○小井田伸雄委員 ありがとうございます。このような御質問させていただいたのは、「世界遺産を活用した」と書いてあると、具体的にどの世界遺産なのか、あるいは隣接圏域と書いているのが北岩手あるいは隣接した青森、秋田の地域という意味かもしれないですし、あるいは3つの世界遺産をつなぐという意味で理解する可能性もあるので、これはもう既に定まったものということかもしれませんが、少しそのあたりを明確にする余地があるのであれば御所野遺跡ですとか、そういう具体名を入れていただいたほうがより分かりやすいかなとは個人的には思いました。

以上です。

○高橋政策企画課評価課長 ありがとうございます。

○加藤徹委員長 ほかにございませんでしょうか。

工藤委員お願いします。

○工藤昌代委員 3ページのところの自然環境のところ、新規で水素の利活用を推進するためにいわて水素モビリティ実証事業費を創設してとあるのですが、今後水素ステーションの設置とかの導入補助を行うということで予算を計上しているかと思うのですけれども、現実的にはどれぐらいを普及できるイメージなのでしょうか。

○高橋政策企画課評価課長 担当課がないので、すみません、具体的な話になかなかないかもしれませんが、私のところで把握しているところだと、今のところ県内に水素ステーションがないということで、FCVの普及が進んでいないというのが課題となっておりまして、他の都道府県については水素ステーションが設置されているところのFCV登録台数が伸びているという現状がございまして、今回の事業におきまして、来年度小規模水素ステーションの設置に対する補助を創設いたしまして、今のところ2か所に水素ステーションを設置されることを想定して補助事業を創設してございます。さらには、FCVの普及を図るということで、そちらについての想定としましては市町村や事業者がそういった水素を活用した自動車、水素自動車を購入するときの補助を設けたほか、県も率先して公用車として水素自動車を導入しようというような事業となっております。

○加藤徹委員長 工藤委員よろしいでしょうか。

○工藤昌代委員 岩手県がすごく広いので、2か所だけつくって普及するかどうかというのがちょっと疑問なのと、県が導入するという事は岩手県庁のあたりとかに水素ステーションができて、民間の人でも使えるのかちょっと分からないのですけれども。とはいいいながら、スタートしなければ、1台のスタートがなければその先がないということだと思っているので、そのあたりを今後も興味を持って見ていきたいなと思います。

○高橋政策企画課評価課長 ちょっと補足いたしますと、水素ステーションについては事業者が設置するのに対して県が補助するというようなことを想定してございます。2か所の小規模水素ステーションの設置を想定しておりますので、工藤委員おっしゃるとおり、まずは最初に設置して、これからどんどん進めていくというようなイメージでございます。

○加藤徹委員長 よろしいでしょうか。

○工藤昌代委員 ありがとうございます。

○加藤徹委員長 ほかにございませんでしょうか。

「なし」の声

○加藤徹委員長 なければ、私のほうから1つだけちょっと教えていただきたいのですが、新型コロナウイルス感染症によって県の取組にどのような影響が見られたのか、またそれを踏まえた来年度への政策等への反映状況はどのようになるのか。我々新聞報道等では、岩手県の来年度、令和4年度の予算案は全体で7,922億円、約8,000億円、そのうち新型コロナウイルス対応分としましては966億円、約1,000億円ぐらい、そうしますと全体の予算の中でコロナ対策費が約12%ぐらい占めることになるのですが、コロナ対策費は、それはそれでそのように対応していただかなければならないと思うのですが、このことによってほかの政策にしわ寄せとかが及ぶのか、それは別途地方交付税で措置されるのか、その辺ももし分かれば教えていただければありがたいかなと思います。よろしくお願ひします。

○高橋政策企画課評価課長 まず、新型コロナウイルス感染症対策につきましては、委員長おっしゃったとおり、医療提供体制の強化、それからワクチン接種体制の確保などの感染拡大防止への対応、それから事業者の資金繰り支援などの社会生活、経済活動を支える取組などを当初予算で盛り込んでおります。こちらについては、国から来るコロナ交付金などを十分に活用しながら取組を進めていくということで予算編成されているところでございます。さらには、こちらの当初予算のほかこういった内容については、補正予算も含めまして、こちらは適時適切に随時対応してきているというようなことが新型コロナウイルス感染症対策ということになっております。

さらに、先生おっしゃるとおり、その他の県の取組におきましてもやはり広く影響が見られておきまして、そちらにつきましては政策評価におきましても新型コロナウイルス感染症の影響ということで丁寧に分析をして、政策評価の段階で課題とか今後の方向というのを整理しているところでございます。例えば報告書の資料でいいますと、例えば11ページになりますけれども、11ページの健康・余暇の部分でいいますと、課題としましては課題の最後のところ、県内の公立文化施設における催事数は新型コロナウイルス感染症の影響により減少していることから、コロナ禍に対応した文化・芸術に親しむ機会の充実に取り組む必要がありますといったような評価、課題分析をしておりましたが、今回その反映状況としましては、次のページの12ページになるのですけれども、12ページのその他取組の改善評価等というところの下から3つ目の黒丸になりますけれども、岩手芸術祭のオンライン配信、それから次の黒丸になりますけれども、活動の継続再開や感染予防対策に要する経費の支援、若者イベントの支援などといった取組に反映してございますし、さらにいいますと次の13ページの家族・子育て分野におきましても今後の方向のところにおきまして、下から4行目になりますけれども、新型コロナウイルス感染症への対応として、テレワーク等の様々な働き方に係る先進事例を広く紹介するなど働きやすい職場づくりを推進しますといったような形で整理していたのに対しまして、こちら14ページの反映状況になりますけれども、下から2つ目の黒丸、テレワークの導入を含む労働環境の整備や処遇改善に向けた企業の取組への支援を行うといったような形で、ほかの分野についても同じようにやはり広くコロナ感染症の影響というのを受けておりますけれども、こういった政策評価で分

析した課題に対しまして、令和4年度の取組において反映をさせていただいているところ
でございます。

また、次の報告事項にもありますけれども、コロナ感染症の影響を受けた指標の見直し
というものが今回行っているところでございます。

以上です。

○加藤徹委員長 ありがとうございます。

ほかに委員の方々、御質問ございませんでしょうか。

「なし」の声

○加藤徹委員長 なければ、時間も押していますので、次の議題に移らせていただいてよ
ろしいでしょうか。

「はい」の声

(5) いわて県民計画（2019～2028）第1期アクションプラン（2019年度～2022年度） における具体的推進方策指標の変更について（報告）

○加藤徹委員長 それでは、次に議事（5）、いわて県民計画（2019～2028）第1期アク
ションプラン（2019年度～2022年度）における具体的推進方策指標の変更についてという
ことで、事務局の方から御説明お願いいたします。

【資料3に基づき説明】

○加藤徹委員長 ありがとうございます。それでは、ただいまの御説明につきまして何
か御質問、御意見ございませんでしょうか。特にございませんか。

「なし」の声

(6) その他

○加藤徹委員長 もし後で何か気づいたことありましたら、事務局のほうにまた直接御対
応いただければと思いますが、そういう形でもよろしいでしょうか。

「はい」の声

○加藤徹委員長 それでは、以上をもちまして本日用意されました議事を終了させていた
だきたいと思っております。予定の時間を若干オーバーしてしまいましたが、委員の皆様には御
協力をいただきまして、ありがとうございました。御礼を申し上げます。

それでは、進行を事務局の方へお返ししたいと思います。事務局よろしく申し上げます。

○照井政策企画課総括課長 加藤委員長ありがとうございます。

以上で本日の委員会は終了いたします。ありがとうございました。
ここで事務連絡をさせていただきます。

○佐々木政策企画課主査 皆様、議事ありがとうございました。事務連絡をさせていただきます。

御案内の時刻を過ぎてしまっておりますので、この後、おおむね5分後、11時10分頃を目途に各専門委員会を開催させていただきます。委員の皆様におかれましては、現在入室いただいているウェブ会議室からは退室いただきまして、事務局から別途お示ししております各専門委員会のミーティングID、URLにより改めて入室いただくようお願いいたします。この後、事務局で設営の準備をさせていただきますので、少々お時間をいただきます。

以上でございます。ありがとうございました。

4 閉 会

〔事務局から閉会宣告〕